

北海道和牛ブランド懇話会の取組イメージ

北海道和牛ブランド力の向上を通じた経営安定と消費拡大

背景

■第8次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画

- ＜生産基盤の強化＞
- 肉用牛経営と酪農経営の連携
- 一貫経営の推進
- 和牛の生産拡大 など

■北海道和牛振興戦略プラン

- ＜ブランドづくり＞
- 肥育牛の生産頭数の拡大・道内出荷の増加
- 北海道のイメージを活かした各産地で共有できるブランドをつくり、地域ブランドと一体的にPR活動を進める
- 「北海道」のイメージを最大限活用し、国内外の消費者に向けて発信

■第13回全国和牛能力共進会

- ＜北海道で開催する意義と目的＞
- 全共開催県として上位入賞を目指す全道一丸となった取組により和牛の能力と肉質の向上が図られ、北海道和牛のブランド力(販売価格)の向上が期待

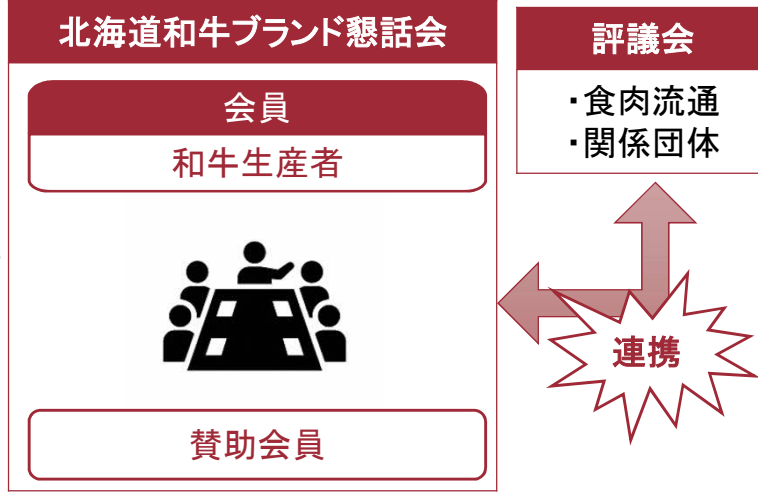
■道有種雄牛の造成

- 北海道の黒毛和牛の競争力強化やブランド化を図るため、北海道の特色ある種雄牛を造成

北海道和牛ブランド懇話会の目指す姿

生産者をはじめ関係者が一体となって、北海道和牛のブランド確立に向けて肥育の生産拡大や認知度向上を図る

北海道和牛の生産振興に向けたブランド力の向上を推進する組織が必要!



取組の方向

生産拡大対策

- 生産者間の交流や技術研鑽を通じて、肥育牛の生産振興を目指します
- 肉質や食味の向上など、流通の協力を得ながら、消費者に求められる和牛肉づくりを目指します

認知度向上対策

- 「北海道」のイメージを最大限活用し、各産地との共有が可能で、より多くの生産者が参加し、ブランド力の向上や国内外への発信などを目指します
- 生産(繁殖・肥育)・流通が連携し、道産種雄牛を活用したブランドづくりを目指します

取組に向けて配慮すべき事項

- ◆既存の地域ブランド・銘柄を尊重しながらブランド力の向上を図ります
- ◆食肉流通業界の意見協力を得ながらブランド力の向上を進めます

主な取組内容イメージ

生産拡大

- 生産者間や食肉流通業界との交流(技術・情報)
- 生産振興技術や肉質・食味向上に向けた研修会などの開催

認知度向上

- 各産地で共有できるブランド力の向上
 - ・例えば、北海道が認証制度を創設し、その称号を活用して消費拡大に向けたロゴマークを作成
 - ・食肉流通業界の協力を得ながら、ロゴマークを活用した販売促進
- 道産和牛肉の国内・海外への発信
 - ・食肉流通業界の協力を得て、道の海外プロモーション活動等との連携による情報発信

将来に向けて議論していきたい事項

- 認証和牛の取扱い飲食店・販売店の登録
- 食肉流通業界との連携による北海道産和牛フェアの実施や首都圏での北海道物産展等への参画、輸出に向けた取組
- 玄関空港でのPR